

検体検査(外注) 内容変更のお知らせ

(25-OH-ビタミンD・グルカゴン・BGP・HPV-DNA同定・LA)

26-007 (2026 Mar.)

サポートライン
2147

このたび、掲題の検査項目(外注)について、検査内容を変更いたします。

診療科のみなさまには、ご理解いただきますようお願いいたします。

2026年 4月 1日 (火) 以降 受付分より

- 内容変更項目 : 以下 表の通り
- 検査場所 : LSIメディエンス(外注)

検査項目	変更内容	変更後	変更前
25-ヒドロキシビタミンD (1077 / 3G065)	検査方法	CLIA	ECLIA
	基準範囲	ビタミンD充足 30.0 以上 ビタミンD不足 20.0~29.9 ビタミンD欠乏 20.0 未満 くる病の診断基準 20.0 以下	ビタミンD不足 20.0~29.9 ビタミンD欠乏 20.0 未満 くる病の診断基準 20.0 以下
	結果単位	ng/mL	同左
グルカゴン (1132 / 4G030)	基準範囲	8.8 - 45.2 (空腹時)	5.4 - 55.0 (空腹時)
	結果単位	pg/mL	同左
オステオカルシン(BGP) (1076 / 4Z280)	検査方法	ECLIA	FEIA
	基準範囲	男性 8.4 - 33.1 女性(閉経前) 7.8 - 30.8 女性(閉経後) 14.2 - 54.8	8.3 - 32.7
	結果単位	ng/mL	同左
	備考	大量のビオチン摂取が検査値に影響する可能性があります	(該当なし)
HPV-高リスク型 DNA同定 (6457 / 5G501)	検査方法	リアルタイムPCR法	ハイブリッドキャプチャー法
	基準範囲	16型判定 検出せず 18型判定 検出せず 他 検出せず	インデックス値 1.00 未満 判定 陰性
ループスアンチコアグラント (希釈ラッセル蛇毒時間法) (6675 / 5G501)	基準範囲	1.2 以下 (dRVVT比)	1.2以下 (normalized ratio)
ループスアンチコアグラント (リン脂質中和法) (6698 / 5G501)	基準範囲	1.16 以下 (SCT比)	1.16 未満 (SCT比)

検査部：増田(PHS：2144)・山本(PHS：82030)・橋本(PHS：2141)

京都大学医学部附属病院検査部

<https://clinical-lab.kuhp.kyoto-u.ac.jp/>

kensa@kuhp.kyoto-u.ac.jp

KU:P

一次サンプル
採取マニュアル

グルカゴン(膵グルカゴン)

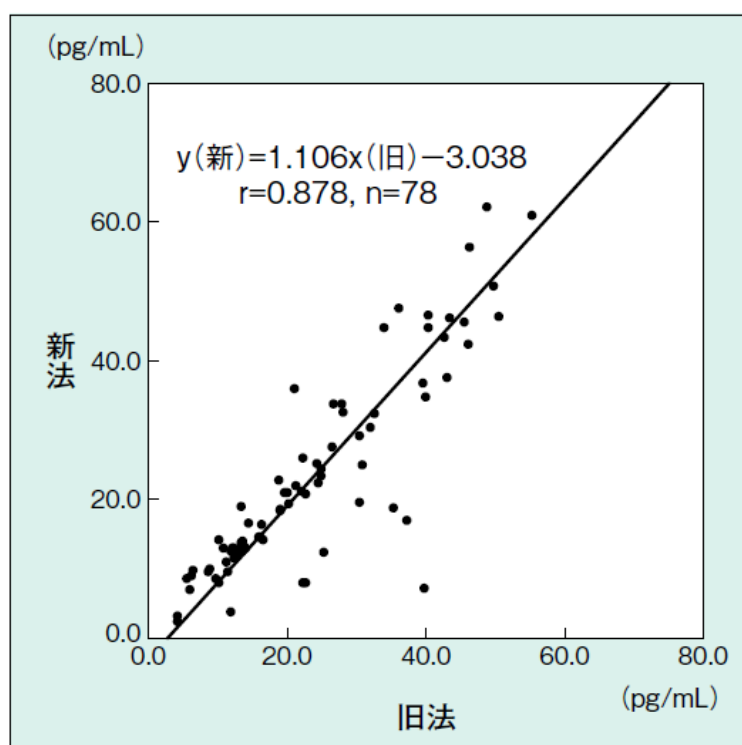
 サポートライン
2147

測定試薬を、現行法と同一のメーカーが発売する新試薬に変更いたします。新試薬では、前駆体であるプログルカゴンからグルカゴンが産生される過程で生じる類似物質が測定に与える影響が軽減されており、より正確なグルカゴンの測定が可能となります。

測定試薬の変更にとまない、基準値を変更いたします。

検査項目	変更内容	変更後	変更前
グルカゴン (1132 / 4G030)	基準範囲	8.8 - 45.2 (空腹時)	5.4 - 55.0 (空腹時)
	結果単位	pg/mL	同左

● 新旧二法の相関



LSIメディエンス検討データ



オステオカルシン(BGP)

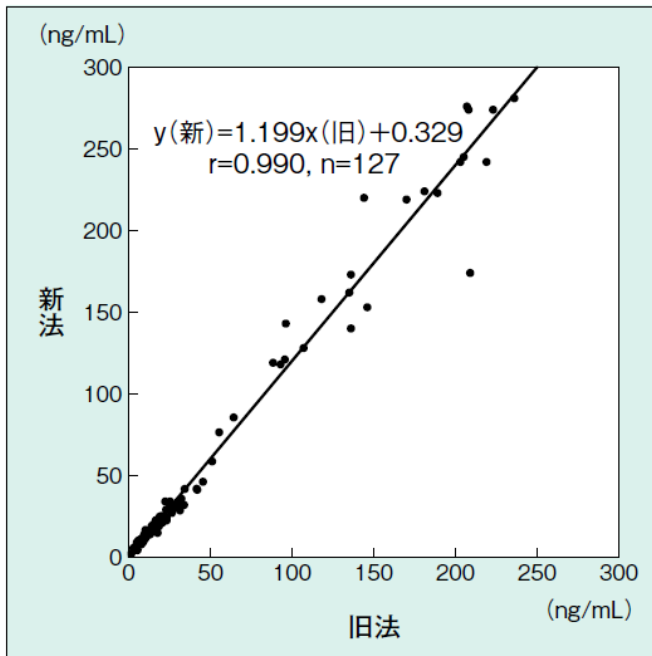
サポートライン
2147

測定試薬をFEIA法からECLIA法による試薬に変更します。これに伴い添付文書に記載の基準値に変更いたします。

新試薬は測定系にビオチン(ビタミンB7)を用いており、多量のビオチンを摂取している場合は、測定結果に影響を及ぼす可能性があります。ビオチンを1日5mg以上投与している患者からの採血は、少なくとも投与後8時間以上経過してから実施してください。

検査項目	変更内容	変更後	変更前
オステオカルシン(BGP) (1076 / 4Z280)	検査方法	ECLIA	FEIA
	基準範囲	男性 8.4 - 33.1 女性(閉経前) 7.8 - 30.8 女性(閉経後) 14.2 - 54.8	8.3 - 32.7
	結果単位	ng/mL	同左
	備考	大量のビオチン摂取が検査値に影響する可能性があります	(該当なし)

● 新旧二法の相関



LSIメディエンス検討データ

